

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29 年 7 月 26 日			
所属学部・研究科	文学研究科 D3 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	リーズベケット大学 (国名: イギリス)			
所属学部・学科等名	文学部			
在籍身分	学士			
留学期間	平成 28 年 9 月 19 日～平成 29 年 7 月 1 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Tier 4 (学生ビザ)			
	ビザ申請先: 大阪ビザ申請センター			
	取得方法, 提出書類: 提出書類: IELTS for UKVI のスコア、通帳のコピー、通帳の翻訳とその翻訳証明、WEBで申請したフォームを印刷したもの (翻訳会社は「株式会社翻訳センター」を利用した)			
	手続きに要した日数: ニヶ月以上			
その他必要な事前手続き	自分の口座に9135£以上を振り込んでおくことがTier 4を取得する条件の一つになっているので注意 (その時のポンドの価格に十分注意しておくこと)。			
出国年月日	平成 28 年 9 月 19 日			
経路	出雲→羽田→フランス→マンチェスター (JAL の学生ロングステイというパックを利用して往復の航空券を購入)			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	International Student のためのオリエンテーションが、授業が始まる一週間前の Welcome Week に開催された。主な内容は、授業に関すること、一年を通した大学内でのイベント、イギリス国内ツアーの紹介などであった。			
帰国年月日	平成 29 年 7 月 1 日			
経路	マンチェスター→ヒースロー (ロンドン) →羽田→出雲 (JAL の学生ロングステイ7 というパックを利用して購入)			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	166 万	円	
	内訳	渡航費	23 万	円
		保険料	14 万	円
		教科書代(学費)	1 万	円
		宿舍費	66 万	円
		食費	50 万	円
		その他 (交際 費)	12 万	円
(費)	万	円		
(費)		円		

3. 授業について	
2016年 秋 学期	9 月 19 日 ~ 12 月 12 日
2017年 春 学期	1 月 30 日 ~ 4 月 3 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	授業を選ぶ際には、授業の評価方法に注意をして選択すると良いと思います。プレゼンテーションやエッセイ、筆記試験など様々ですので、自分に合った講義を選ぶことをお勧めします。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	留学先の訛りを勉強しておくといいかもかもしれません。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (4 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 432 £ (現地通貨) 約 63000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮に到着した時、ベッドはマットレスだけしかなかったため、Morrisons や Wilko's などのスーパーで Duvet (掛け布団と枕のセット) とマットレスカバー (Fitted Seat) を購入する必要がありました。Duvet は 12 ポンドほどでそこまで高くありません。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 94180 円 補償額 死亡 一千万 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由: ほこりに対するアレルギーを持っていたので、常備薬を日本から持参した。

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	診察代は大学と提携している STUDENT PRACTISE という医療機関があるため無料であった。薬局で払う薬代だけ払う必要がある	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	イギリスは特に一日の寒暖の差が激しく、乾燥もしやすいので注意すること。手洗い・うがいは滞在中に欠かさず行った。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ISISをはじめとするイスラム教過激派のテロ活動。特にラマダン月(おおむね5月~6月)にはテロが都市部で頻発するため、ロンドン、マンチェスター、バーミンガムなどの都市に行く際には気をつけること。夜の公園は照明も全くないことがあり真っ暗になるため、出歩かないこと。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・ Rail card や Coach card など、公共交通機関が学生割引の値段で利用できるため、イギリス国内を旅行する際には利用すると思います。ただし、Rail Card は大学の事務に頼んで書いてもらう必要があるため、(Rail Card で検索をして)、その Webpage から書式をダウンロードして事務にお願いすることになります。 ・ もし帰国の際に荷物が多い場合は、欧州ヤマトの引越しパックなども利用可能です。ひと箱約二万円ほどかかります。 ・ 		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 30 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 30 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職活動、博士論文の執筆・完成	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	特になし。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
IELTS 10/11 Academic	Cambridge University Press	IELTS の対策に使用した
BBC のニュースサイト	http://www.bbc.com/news	現地の情報を集めるために使用した。
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
<p>VISA の申請に係る準備や予防接種などは早めにはじめた方が出発前に焦らなくなると思います。特に VISA に必要な書類は自分で訳をつけるのではなく、翻訳会社に依頼して翻訳証明をもらう必要があるため注意が必要です。</p>		

学習の概要に関するレポート

構成

- I. 授業について
- II. 図書館利用について
- III. 教科書購入について

I. 授業について

イギリスの大学の講義は Class ではなく Module と呼び、Module 1 つにつき 20 単位となる。Module は Lecture (講義) と Seminar (少人数のディスカッション) で一つのセットとなっており、Lecture には全学生が出席し教授の講義を聴き、Seminar では、Lecture で学習した内容を重点的にディスカッションを行う。例えば、私が履修した授業の一つは火曜日に Lecture があり、金曜日に Seminar があった。Seminar では多くても 15 人ほどの学生が参加する。

大学の先生の話す英語は方言の違いはあまりなく、BBC などによく聞く RP (Received Pronunciation) の発音であることが多いため Ted などのプレゼンテーションを紹介するサイトなどで学習しておけばリスニングに問題はないと思われる。しかし、学生の話す英語は現地の方言であることが多いため、留学先の地域の方言について留学前から少し学習をしておくことで学生同士のディスカッションにも参加しやすくなると感じた (ちなみに Leeds Beckett University ではヨークシャー地方出身の学生が多かったため、ヨークシャー訛りの学生が多かった)。講義で使われたレジメなどは Black Board などの電子掲示板でいつでもダウンロードできるようになっている。

II. 図書館利用について

Leeds Beckett 大学の図書館は、24 時間開いているためいつでも利用できる。図書資料を貸出する場合は、学生証と暗証番号が必要になる。暗証番号は図書館のデスクに訊いて確認をしたり、My Leeds Beckett という自身のアカウントサイトの中でも確認できる。19 時以降の入館には、学生証を入り口にあるゲートにかざして入る必要がある。さらに継続して 19 時以降も図書館で勉強する場合は、セキュリティーの都合上、館内の警備員が学生一人一人に学生証の提示を求めるため、学生証の携帯は必須である。

他の大学の図書館を利用したい場合は、SCONUL というサイトを通じて大学間の図書館利用の申請ができる。一部の大学ではこの SCONUL には提携していないが、ほぼイギリス国内の大学の図書館がこの SCONUL を通じて申請すれば利用可能である。

III. 教科書の入手・購入について

教科書は Module によって購入の必要・不必要が分かれる。講義によっては電子書籍を使ったり、Module Handbook の中に講義で扱うテキストブックが含まれていたりするため購入する必要はないことが多い。もし教科書を購入する必要がある場合は、Blackwells などの大学の教科書販売をしている本屋が教科書を安く売っていることがあるため利用すると良い。また、イギリスのアマゾンのアカウント (amazon.uk) を作って本を購入することも可能である。アマゾンで売られている中古品は実際の定価よりも安く購入することができる。

生活の概要に関するレポート

構成

- I. 寮について
- II. 公共交通機関の利用について
- III. イギリスの気候と服装について
- IV. 携帯電話について

I. 寮について

私が滞在した学生寮は学生5人（私自身も含めて）でキッチンと浴室を共有するフラット型の寮であった。自分の部屋には机と椅子、洗面台とクローゼット、そしてマットレスがあった。マットレスにはカバーもなく、自分の部屋に到着した時に近くのスーパーマーケットで枕と掛け布団とマットレスカバーを買う必要があった。リーズには、大型スーパーの **Morrisons** があったため、そこで枕と掛け布団がセットになっている **Duvet** を 15 ポンド程で購入する必要があった。マットレスカバーは英語で、**Fitted Seat** といい、**Morrisons** でも購入可能である。**Duvet** と **Fitted Seat** は **Morrisons** の他にも、**Wilko's** などのスーパーでも購入可能である。クローゼットにはハンガーもないためハンガーも買う必要があった。大型スーパーで日用品も購入できるため、洗濯カゴなども購入すると良い。フライパンや食器も自分で買う必要があるが、フライパンなどの他の学生とも共有することが多いものは、一緒に住むことになる学生と相談をして購入すると節約できる。

寮によっては、毎週共同スペースがきれいになっているか点検されることがあり、清潔さが基準点に達していなかった場合は、再点検を受けることになる。私の寮では、学生同士で毎週の共同スペースの清掃の順番を決め、清潔に保つようにしていた。退寮する際には、自室が入寮した時と同じ状態にする必要があるため、共同スペースだけではなく自分の部屋も普段からきれいしておく必要がある。

II. 公共交通機関の利用について

イギリス国内を旅行する際には、学生割引で乗車券を購入できるようになる **Rail Card** を発行すると良い（詳しくは、<https://www.16-25railcard.co.uk/>を参照）。もしくは、**Coach** と呼ばれる高速バスを利用することもできる。**Mega Bus** や **National Express** のサイトからバスの予約ができる。**National Express** を利用するならば、**Coach Card** を **National Express** のサイトから申請することで安くチケットを購入可能である。**Mega Bus** は安価でリーズからロンドンまで 1 ポンドで乗車券を購入することもできるが、乗客の質が悪いこともあってあまりお勧めしない。もし運転がしたい場合は、日本で国際免許証を発行可能である。しかし **Leeds** は車の運転が荒いため、たとえイギリスも日本と同様に左側通行であっても運転は控えた方が良くと思う。

III. イギリスの気候と服装について

イギリスの中でも私が留学していたリーズは日本よりも肌寒さが5月くらいまで続いたため、イギリスでダウンジャケットなどを購入した。日本から持ってきてもいいが、イギリスでも **UNIQLO** や **H&M** があり、日本で買うのと同ほぼ同じ値段で購入可能である。イギリスは一日の間で寒暖の差が激しいため服装には気をつけると風邪も引きにくくなると思う。

IV. 携帯電話について

Leeds Beckett 大学では、交換留学の学生に **Giffgaff** という会社が提供している **SIM** カードを配布していた。日本の携帯電話は **SIM** フリーにもできるため、留学前に最寄りの携帯電話会社に行って **SIM** を解除しておくといギリスの **SIM** カードが月額 5 ポンドのプランから利用可能であり、さらにイギリスの携帯番号がもらえるため、イギリス国内でも通話可能になる。もし海外ローミングの料金が高いと感じるのであれば **Giffgaff** の利用をお勧めする。私は月額 10 ポンドのプランを使用していた（詳しくは、<https://www.giffgaff.com/>まで）。なお、イギリスの携帯番号があると、タクシーの予約などもしやすくなる。イギリスのタクシー会社は **Uber** または **Amber** の二社であり、スマートフォンのアプリで自身の電話番号を登録すると使用可能である。料金は日本のタクシーとほとんど変わらない値段である。